

新編水滸畫傳

初編

三







神書佛書醫書國史  
繪本手不新古賣買  
手遊いふく法言の詞  
所引又了らばいふ上

依後町三休指所入  
河内屋孫玄衛

新編水滸畫傳卷之三

東都

曲亭主人編譯

九紋龍大史家村を鬧る

九紋龍史進ハ王進ヲ別々ニ後モ武藝イニク懈ラズ毎日氣力を  
射馬を走半半を過つる其のた公假初  
病中一の醫療看病の驗やう終るむあうなりけ九史進い  
哀しく西山の上ニ葬果過七の追薦好車さるるを盡して當ぬ  
之未だ九紋龍ハ農業を教はるるを嫌ひし故に史進公たうありてハ  
新作を管するものもあく只いづかふ月日たち六月月中旬日ぞわたり  
ある日の事ありし史進ハあやう暑熱堪えぬ女衣を打穿て  
の柳蔭より出立づり蟬もあおるやとく松わく風をやるは

新編水滸畫傳卷之三









李吉審正  
好華山の  
光景を説

竹田之并上亭之



李吉審正



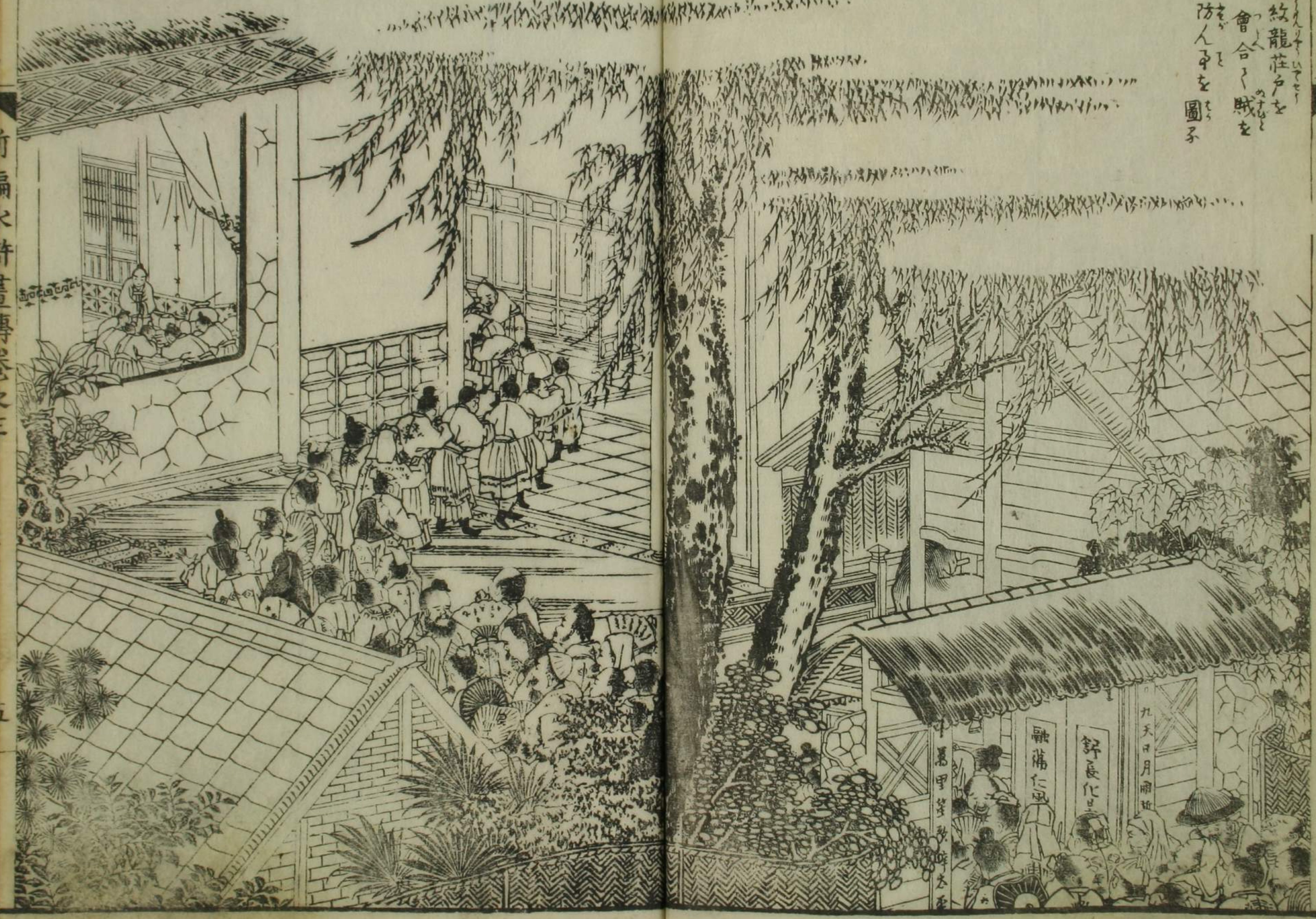
ざりし。汝りこのち野味あぶらふ。賣ふふりつ。李吉はくろえ  
 果くくうる。この時史進おりやう。彼強盜既。許多のふ。を聚縣尉  
 くと。怕いぬ。祿あふ。定く。村坊へもまう。薄惱りもあは。さ  
 渠奴木を防ぐ。用公を。まら。志。とて。廳。前。に。ま。り。入。り。サ。客。に  
 命せ。當村の。庄戸を。強。り。味。集。させ。酒を。湛。牛を。殺。り。り。め。ら  
 こ。息を。俟。福。に。四。百。人。の。庄。戸。を。史。氏。を。名。出。る。もの。悉。く。来。り。集  
 く。草堂の上。に。列。坐。せ。り。時。史。進。在。客。に。酒。酒。せ。り。一。面。に。酒。を。勸。め  
 衆。人。に。對。し。り。や。う。灰。に。聞。少。華。山。に。二。人。の。強。盜。搦。く。五。七。百。の。小。嘍  
 囉。を。聚。め。按。に。賊。を。棄。舎。を。劫。く。傷。若。を。く。し。と。ぞ。志。れ。ば。渠。奴。等  
 くの。村。へ。も。ま。う。囉。嗶。せ。ん。り。ある。ず。記。に。あ。は。び。り。て。今。お。の。く  
 を。招。き。相。語。せ。く。と。も。倘。若。強。盜。来。り。奉。河。に。柳。子。を。り。り。

暗号とまへ。その。時。お。の。鎗。鏈。棒。を。引。提。く。走。る。人。ま。く  
 かの。く。り。り。あ。は。互。に。如。此。に。救。應。り。り。も。村。坊。を。保。へ。縱。強。盜  
 何。百。人。を。来。り。も。これ。づ。理。會。あ。は。少。も。怕。且。ま。へ。づ。と。説  
 示。さ。衆。皆。言。葉。を。奇。に。し。れ。に。愚。なる。もの。に。へ。と。あ。も。か。く。み。と  
 大。郎。の。命。に。從。ひ。柳。子。に。御。言。り。早。速。走。著。り。ん。と。承。承。り。く。その  
 暗。号。を。定。む。き。史。進。が。院。を。退。出。り。史。進。に。か。計。し。後。俄。頃。に。器。械  
 を。准。備。し。門。戸。墻。垣。を。堅。固。に。修。復。し。又。衣。甲。を。拴。束。馬。刀。を。整。頓  
 ず。賊。を。防。ぐ。の。用。意。つ。め。り。も。油。断。お。し。柳。少。華。山。に。寨。木。を。構。え。は  
 第一の頭領。神。機。軍。師。朱。武。と。い。ふ。の。原。是。定。遠。と。い。ふ。ところ。の。人。氏  
 み。く。み。く。兩。刀。を。使。ひ。り。術。劍。法。に。十。分。の。卒。事。に。あ。は。れ。も。精。く。陣  
 法。に。通。達。し。廣。く。謀。畧。あり。その。形。勢。い。つ。あ。は。れ。ば。棕。葉。を。り。て。道。服



九紋龍莊戸を  
會合し賊を  
防人等を  
圖す

新編小説書傳卷之三



新編小説書傳卷之三

五

四

九天日月雨

舒長仁風

融滿仁風

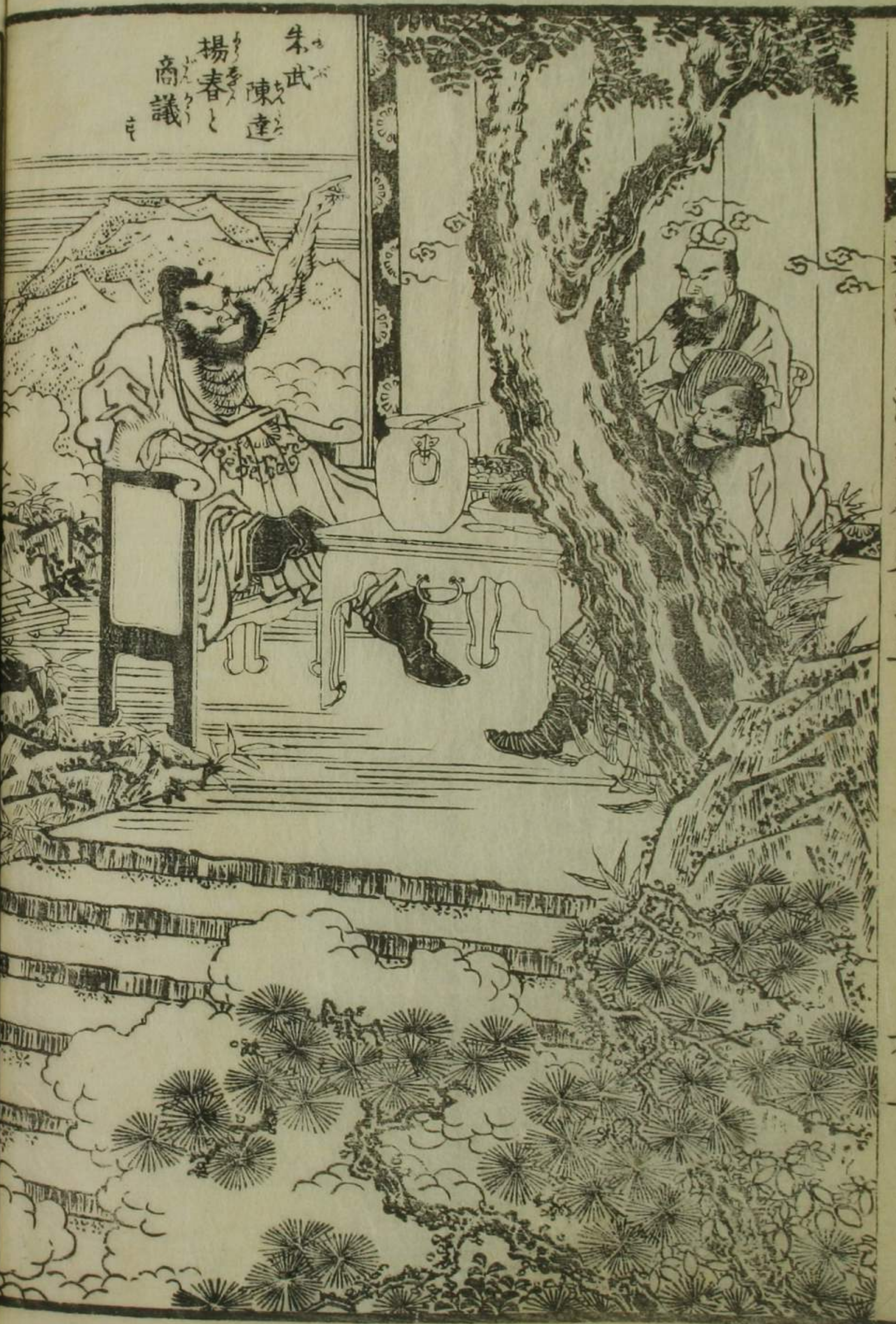
萬里雲飛



と。唐皮をまきし。雲冠とす。臉紅み。雙眼俊面白。細髯空。陣  
 法ハ孔明も方ハ陰謀ハ范蠡も勝たり。第二の頭領跳淵虎陳達と  
 つりのハ原足兼城といふところハ人氏あり。みく白點錮の鎗を使へり。其  
 形勢いふとあまハ力健み声雄く性粗鹵く。長鎗丈八尺撒きを記  
 さふ。兩の如し。第三の頭領白花蛇楊春といふのハ原足蒲州  
 解良縣の人氏。一口の大捍刀を使ふ。その形勢いふとちれハ腰長く  
 臂瘦され。力ハ却。嬌。堪刀を把。敵み逆ハ刀尖花を撒き。み似  
 たり。さしハ彼系氏。一日陳達楊春み相語ふ。今花陰縣あり。二  
 千貫の賞錢を知。人を招起。我們を捉んとする。そのゆえ  
 あり。彼知より。あせ。さふハ斬殺の戦なり。あれば山寨の中  
 み兵糧を積有官軍を防ぐの準備をせ。はらあ。この夏

い。み。あ。ひ。あ。と。同。陳。達。と。し。せ。い。あ。う。哥。の。宣。ふ。と。ら。理  
 み。あ。ほ。の。今。より。花陰縣。み。押。寄。を。兵。糧。を。借。ま。ふ。と。異。も。あ。げ。み  
 同。答。ま。ね。バ。楊。春。志。む。沈。吟。し。華。陰。縣。み。糧。を。備。ら。ん。事。  
 甚。あ。る。べ。う。と。只。蒲。城。縣。み。押。寄。ん。み。究。過。あ。じ。と。を。陳  
 達。も。あ。ま。蒲。城。縣。ハ。人。氏。少。し。錢。糧。も。あ。は。く。又。華。陰。縣。ハ  
 人。戸。豊。富。錢。糧。み。多。く。志。を。大。を。捨。小。を。取。ら。ん。と。す  
 る。み。さ。し。け。り。と。を。楊。春。又。あ。う。て。花陰縣を撃。討。ハ  
 史。家。村。を。経。由。あり。み。彼。九。紋。龍。史。進。と。い。ふ。ハ。雙。た。英。雄。と。し。  
 虎。より。も。勇。し。と。彼。の。村。も。あり。と。争。我。們。を。放。遣。へ。こ。の。み  
 思。ひ。止。り。と。陳。れ。も。陳。達。又。み。聽。容。を。汝。ハ。ひ。あ。き。男。子  
 不。只。一。人。の。史。進。を。怕。し。汝。が。許。多。の。官。軍。を。い。う。み。せ。ん。ハ。と。あ。れ





朱武  
陳達  
楊春  
商議



かゝもあれ。さきの花陰縣をこそ打べられしを。朱武つゞぎ。彼史進が武勇をへり。これ粗きありぬ。汝は処む。今を休く。蒲城縣を打まへ。いひも果さる。陳達うち腹をもち。あしく汝兩人の化の武勇のこを長く。自己の威勢を滅び。縦九紋龍の頭六の臂あり。と何種のものあり。これ史家村をうち過ぐ。花陰縣を押し。あまき御みいぐ。如し。と飽き。廣言吐ち。既。お坐を立んとするを。朱武揚春押さる。再三争ひ。諫ま。陳達一切肯せ。一時。點了。鐵の胳膊繫。お。馬。お。騎。ち。騎。百四五十人の小。嚙。囉。を引つれ。鑼を鳴。鼓を搦。葛地。お。山。を。下。史家村へ。走。ま。る。さ。ら。後。史進。お。莊。客。鑼。鼓。の。響。音。を。ひ。つ。王。お。か。く。注。進。ま。れ。の。史。進。下。知。く。さ。の。柳。子。を。敲。せ。東。西。南。北。莊。前。莊。

後四五百人の史家の莊戸鎗を引。投棒を擡。暗号を。の。之。を。走。集。り。史進。お。莊。内。お。満。さ。り。史進。お。その。日。の。打。扮。の。頭。お。一。字。巾。を。戴。き。身。お。朱。紅。甲。を。被。く。上。お。青。錦。襪。を。着。し。下。お。抹。緑。靴。を。穿。腰。に。皮。の。胳膊。を。繫。前。後。の。鐵。の。掩。心。お。一。張。け。お。一。壺。の。矢。を。推。乃。お。お。一。把。の。三。尖。兩。刃。四。竅。八。環。の。刀。を。拿。火。炭。赤。馬。お。お。上。お。鞞。の。紅。く。り。莊。お。その。の。前。お。備。へ。老。を。は。その。の。後。お。立。一。度。お。喊。を。納。け。村。の。北。口。お。押。出。せ。陳。達。お。人。馬。を。引。既。お。間。近。く。奇。を。奉。れ。史。進。敵。を。え。せ。跳。洞。虎。陳。達。お。乾。紅。凹。面。巾。を。戴。裏。金。の。生。鐵。の。甲。を。被。く。上。お。紅。襪。を。着。し。下。お。中。壩。靴。を。穿。七。尺。あ。ま。りの。攢。線。なる。胳膊。を。志。う。高。頭。白。馬。お。白。袍。を。着。せ。く。ち。跨。上。一。丈。八。尺。の。り。ち。る。







うひ。一素一往一上一下。刀尖より大花を撒く。くゞせもせを挑ぶ。あふ  
 一素一往一上一下。龍水庭に遊ぶ。珠に戯る。の風情あり。上  
 一下の正馬は虎山中に餓さる。食を乞ふ。彷徨あり。九紋  
 龍怒り。打つ。尖の刃頂門の上。飛跳。洞虎。嚙く。刺は。丈八の  
 矛心坎を離さ。閃き。戦ひ。既。数。十。合。及。し。史。進。偽  
 々。刀。射。や。や。乱。作。何。ら。人。は。陳。達。得。り。と。矛。取  
 ら。ほ。し。心。窩。や。け。刺。ん。す。を。史。進。閃。り。腰。を。把。り。陳  
 達の鎧空を刺馬く。も。母。や。ど。ど。か。は。を。史。進。後。臂。を。舒。陳。達  
 の。膝。膊。掴。く。高。く。さ。上。大。地。に。墮。と。投。着。ま。さ。さ。壯。戸。も。走。り  
 走。り。上。忽。地。に。傳。つ。勢。も。ふ。ふ。と。責。打。は。小。嘍。囉。も。途。を。り。し  
 あひ。四。落。八。落。に。逃。く。せ。ま。り。史。進。の。外。を。遠。く。追。ぎ。陳。達。成

引。と。せ。せ。庄。内。に。か。へ。り。符。を。出。居。の。柱。に。挂。着。あ。は。残。二。の  
 賊。首。を。も。生。拘。り。後。に。官。に。訴。せ。賞。も。あ。ら。う。と。衆。人  
 と。も。酒。を。飲。飲。を。竭。せ。ふ。史。家。の。庄。戸。も。その。武。勇。を  
 感。じ。賞。を。あ。ら。う。の。り。と。お。ほ。え。る。さて。又。女。華。山。の。寨。に。朱。武  
 揚。春。の。二。人。陳。達。の。身。を。乞。ひ。思。ひ。つ。い。の。も。あ。つ。ん。な。つ。と  
 つ。い。あ。へ。折。し。も。小。嘍。囉。も。逃。へ。り。陳。達。頭。領。兩。君。の。諫。を用。ひ  
 ら。せ。果。し。史。進。の。身。を。生。拘。ら。ま。り。い。と。告。ぐ。史。進。の。英。勇  
 戦。の。形。勢。を。さ。ら。す。と。お。お。は。ま。り。朱。武。揚。春。大。に。驚。き。と。い。ひ。く  
 その。こ。の。ま。よ。り。陳。達。の。史。進。が。對。家。に。あ。ら。う。を。乞。ひ。け。る。あ。え  
 志。を。く。止。し。の。り。符。を。引。出。し。ま。り。と。い。ひ。く。以  
 の。外。周。章。も。時。に。揚。春。の。り。の。中。に。只。この。二。人。の。數。を。盡。して。走。む。ひ



九紋龍  
勇  
跳  
洞  
擒  
捉







朱武謀を  
陳達を  
樹



史進と雌雄を交し陳達を奪ひ入す。りるも陣没するのれ。  
 こゝより外あるべし。いふ事はおはさぬ。と問ふ。朱武答はく。そののこ  
 突しそ用なり。彼史進の武勇。ちうをりつて敵が。さう  
 多し。も謀ふ。倘若陳達を救ひ出さ。車も何べし。といひつ。額を  
 合せ。私語の楊春。むく。理。うけ引つ。二人うちつ。山を。下  
 史家村を望し。いそぎ。この時史進の怒おは消ら。あり。り。り。  
 莊客又去り。ま。少。菜山の朱武楊春。せ。ま。り。と。注進を  
 め。史進。さ。ひ。馬。上。や。と。外。停。立。と。れ。を。ま。り。お。り。味  
 こ。ひ。牛。氏。楊。春。の。小。嘍。囉。を。め。つ。れ。を。只。二人。歩。行。して。さ。不。牙  
 けり。史進の馬前。馬。跪。ま。く。口。官。淚。を。流。し。祝。し。史。進。も。疑。ひ。惑。ひ  
 お。り。や。を。馬。より。お。り。立。止。ま。く。と。ま。り。何。事。を。新。ぞ。官

朱武。武。い。ち。ち。法。し。れ。が。お。と。人。官。司。の。逼。迫。を。祈。り。已。し。を。給。も  
 山。中。登。り。落。草。し。の。さ。あ。ら。も。盟。を。と。て。お。あ。り。日。の。は。ら。ま。子  
 とも。流。が。の。く。日。の。人。繼。劉。備。関。羽。張。飛。の。義。公。乃。乃。ま。ま。と。し。  
 その。志。へ。これ。お。あ。ど。と。と。約。し。ぬ。あ。る。も。今日。陳。達。を。救。ひ。の。好。言。を  
 用。さ。し。虎。穴。に。陥。り。立。地。に。擒。捉。し。て。く。も。却。救。し。お。ち。う。る。さ。は。は  
 を。ま。り。か。ゆ。多。し。も。れ。も。又。英雄。の。も。か。り。く。潔。く。お。死。べ。く。思。ひ。定。兩  
 人。相。伴。し。も。多。し。う。とい。ひ。も。あ。へ。も。千。行。の。涙。も。む。さ。ひ。り。史。進。こ  
 是。を。げ。く。さ。あ。ら。う。う。と。う。が。さ。く。我。公。ぬ。の。き。を。勅。心。に。官。に。解。送  
 賞。錢。を。乞。ん。る。天下。の。好。漢。も。多。し。と。古。より。つ。つ。り。  
 鹿。ハ。す。す。の。や。の。獸。を。食。ま。て。今。その。憐。れ。を。乞。を。ん。く。も。殺。さ。ふ  
 心。が。く。肚。裏。み。く。了。簡。し。汝。は。す。く。も。も。ま。あ。れ。とい。ひ



うけく。草堂再伴のさそひや。これハ第一箇の丈夫なり。今汝木  
 の氏公のふらねを室へせんもいしをまれば。陳達を許し。汝さんと  
 ぞういふふとのハ朱武揚春言葉をそらへり。如此あらば再生乃  
 恩を被る事。汝が身あるはあさり何事ぞ。おそくハ大郎をも連累  
 してまへ。とづく。と人ありも再縛。官へ解送。賞錢をさめ  
 へとつひく。その究る伴おれハ史進を感懐。汝等  
 強盗うり。その義公ハ却て。さるを官再解送。て賞  
 錢をえん。ハ大丈夫の恥。ところなり。あさびつあさおれとつひつ。  
 陳達の縛をさきゆき。と人ふく。史進を神佛のて  
 く。お伏あめ。史進微笑。汝ハ酒を飲や。不や。問。朱武答  
 へ。た。さる。の。賜。ある。物を。あ。て。固。辞。の。ん。

芥子史進大おび。と人酒を勧め。お怒。と人。朱武  
 陳達揚春へ。とめ。魁。とち。史進の高恩をよら。び。す。え  
 少華山。と人。が。と。人の頭領寨より。陳達揚春。管朱  
 武。謀畧の奇。なるを賞嘆。朱武。つ。それ。苦。し。ま  
 計。を。り。陳達を救ひ。出。す。と。九紋龍。義氣のま。く。ま  
 ち。を。怒。く。さ。じ。誠。史進の當世の豪傑  
 たり。稱讚。これ。陳達揚春も。彼。我。の。堅。きを。感。ぬ。す。く  
 十日あさり。種。朱武。と。人の史進。命。助。ら。する。酬。謝。を。せ。て  
 へ。ある。蒜。條。金。二十兩。を。と。人の小喽囉。み。り。せ。月。里。き。夜  
 再。ま。れ。史進の家。再。贈。つ。の。ハ。二。人。共。使。の。初。更。の。ころ。お。その  
 家。再。到。史進。再。對。面。し。と。人の頭領。向。命。助。ら。す。











王伯當  
醉臥  
密書  
春



新編入清書傳卷之三

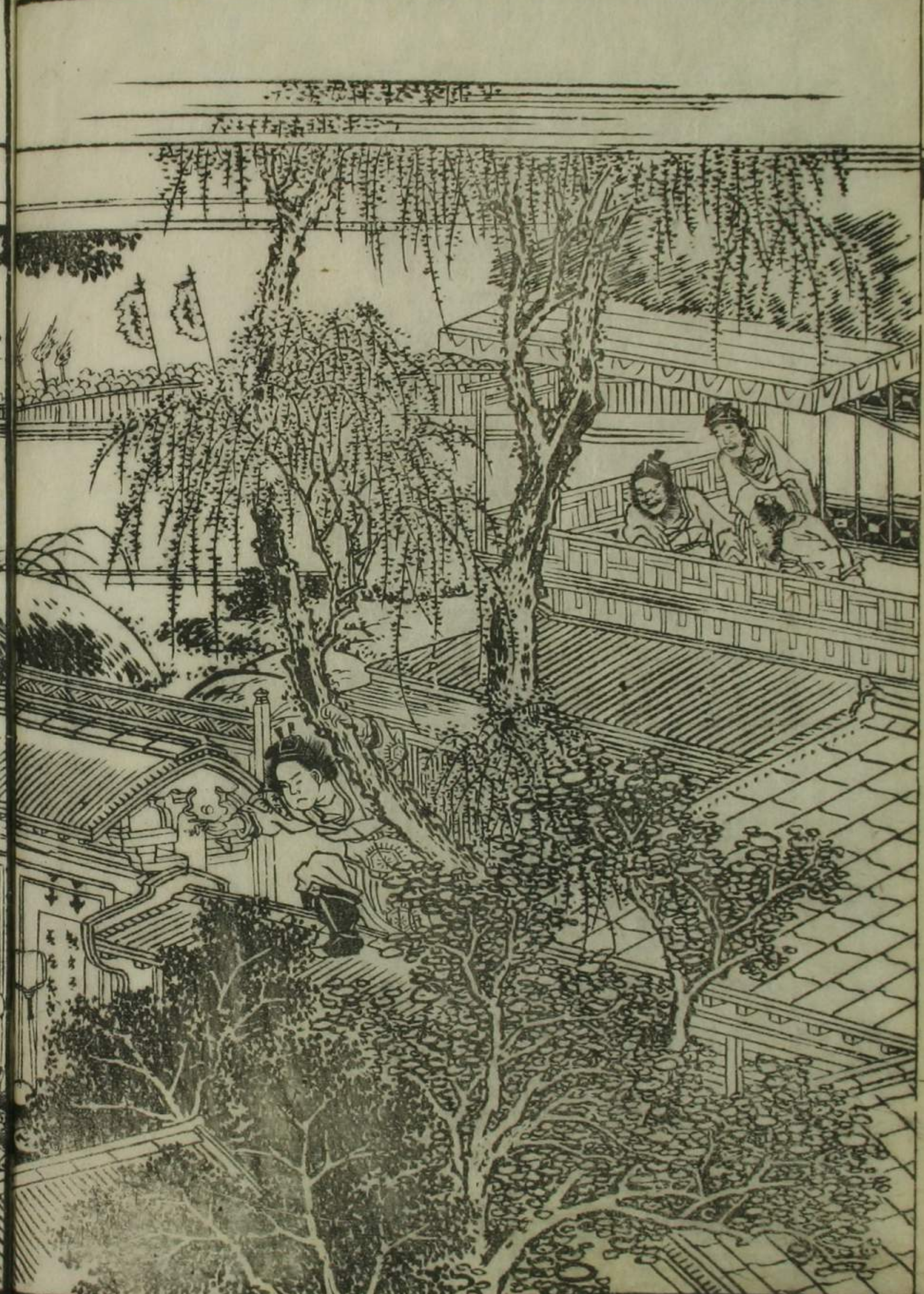
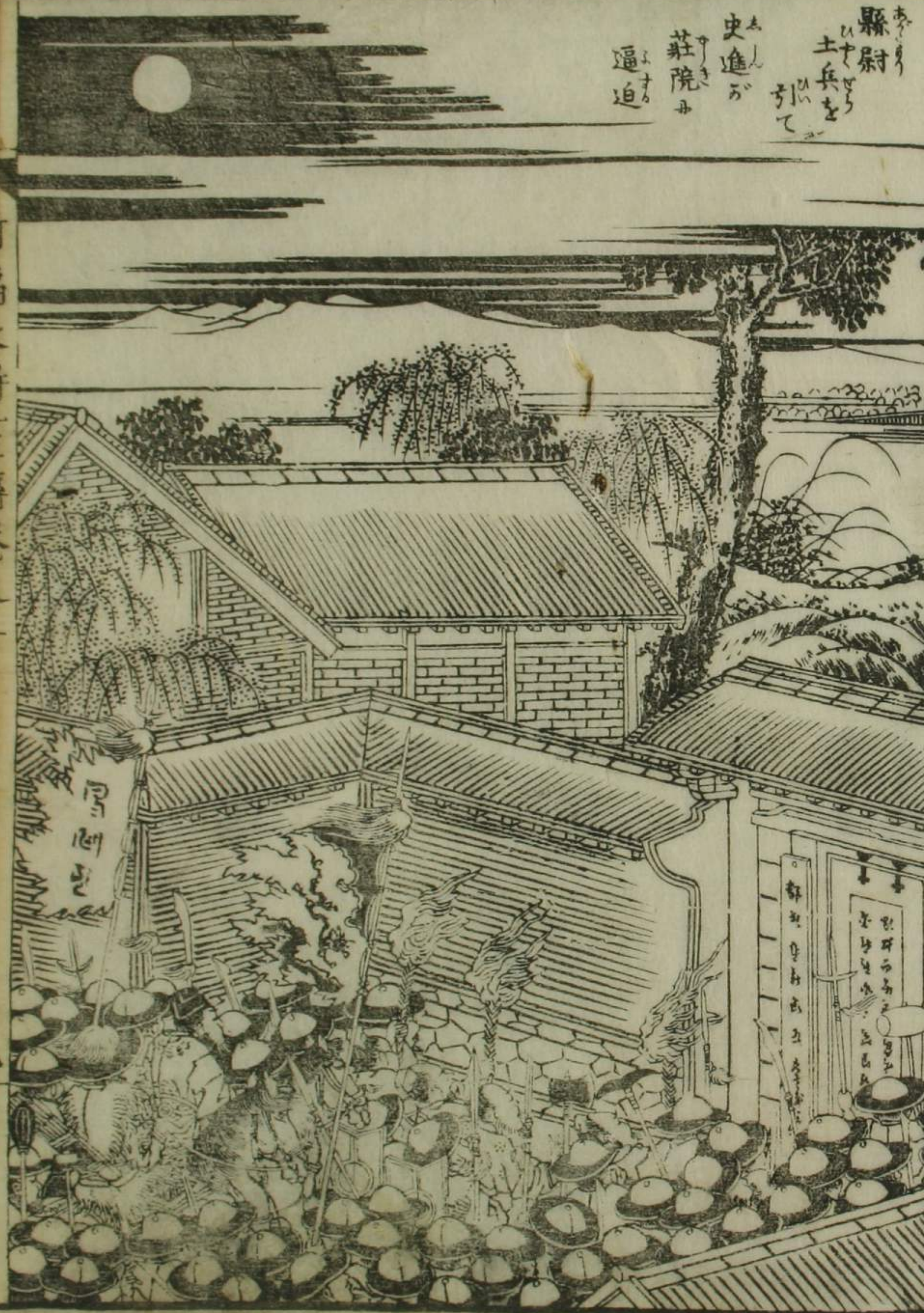
十七







縣尉  
土兵を  
引いて  
史進が  
莊院に  
逼迫



新編水滸畫傳卷之三

丁巳年...



真を僅き折しも。花陰縣の縣尉馬上勇敷打扱。二人の都  
 頭。二百人の土兵を引率。蕉火さぶぐ。是星の下。史進が  
 莊院の四面八隅。稻麻のま。とり圍。異口同音。嗔るや。少華  
 山三人の強盜も。今宵。可會合。出首の。ありて。楚と  
 志あり。ふ。出。縛を受。踏。生拘んや。あ。く。し  
 叫ぶ声。御。響。駭。嗚呼。史進。半點の邪。一旦。此  
 義。母。は。朱武。ホ。人。親。支。參。禍。の。身。母。事。原  
 是。天。正。地。煞。星。の。一。齋。相。會。の。ち。畢。竟。史。進。之  
 の。頭。領。と。い。ふ。の。脱。出。は。そ。の。後。の。巻。を。讀。得。く。あ。ん。

新編水滸畫傳卷之三 畢

# 河内屋孫兵衛

讀人 龍心 得

カ

國 英 勇 學 士 あり

自作 生 不 在 者 上

其 始 從 子

新編水滸畫傳



